

15の事例から学ぶ

認知症利用者の事故防止対策

- 身体拘束せずに事故を防ぐ方法 -

異食、行方不明、暴力行為など、認知症利用者の固有のリスクから起こる事故は、どれも防ぎにくいものばかりです。無理をして防ごうとすれば行動を抑制することになりかねません。認知症利用者の事故を防ぐコツは、「未然防止策」「直前防止策」「損害軽減策」という3種類の事故防止手法を、バランスよく使い分けることです。中でも「事故が起きてケガをさせない」損害軽減策は重要です。本セミナーでは15件の認知症利用者の固有の事故例から、防止対策を検討し、さらに事故による家族トラブルの防止対策も考えます。

1. ショートの初回利用で浴槽洗剤を異食、家族から事前情報なし
2. セキュリティ万全のショートで行方不明、凍死して翌朝遺体で発見
3. 特養で行方不明になり1か月後に目の前の橋の下で遺体発見
4. グループホームの外出レクで行方不明、2日後に隣の市で発見
5. 認知症の利用者の暴力で重大事故、実は統合失調症だった？
6. 認知症利用者が肉団子で窒息、「計画書は普通食」だから過失は無い？
7. 認知症の利用者が施設の窓から転落、施設の虐待を疑う家族
8. デイサービスの認知症利用者が暴力事故、家族が賠償してくれない
9. 認知症利用者が暴れて介助中に転倒、無過失を主張したが・・・
10. デイの送迎車から認知症利用者を降ろし忘れて熱中症で死亡
11. センサーコール対応が遅れて転倒、「施設の過失だ」と家族
12. 認知症利用者の骨折を5日間放置して大きな家族トラブルに
13. 「入所してすぐに認知症が悪化したのは施設のせい！」と言う家族
14. 認知症利用者が他の利用者にあげた飴で誤えん事故発生
15. 認知症利用者の写真を広報誌に掲載し家族が苦情申立

※参加者は事例に目を通してからご参加下さい⇒[事例一覧<http://tiny.cc/ys6b00l>]

無料オンラインセミナー開催要領

- 開催日時: 2025年4月25日 13:30~15:00
- 主催: 株式会社安全な介護
- 講師: 株式会社安全な介護 代表 山田滋
- 参加費: 無料
- 参加方法: Zoomによるオンライン(接続PCは3台まで)
- 申込方法: 下記URLからお申し込み下さい(4月18日締切)

<http://tiny.cc/672zww>

お申込みいただいた方には、締め切り後に視聴用URLとテキストをメールで送付いたします。

講師プロフィール

山田 滋 早稲田大学法学部卒業と同時に現あいおいニッセイ同和損害保険入社。2006年7月よりインターリスク総研主席コンサルタント、2013年5月末あいおいニッセイ同和損保を退社。2014年4月より現職。高齢者施設や介護事業者と取り組み、現場で積み上げた実践に基づくリスクマネジメントの方法論は、「わかりやすく実践的」と好評。各種団体や施設の要請により年間150回のセミナーをこなす。

セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 セミナー事務局

mail:soudan@nanasha.co.jp